

# 薬の伝言板 中耳炎



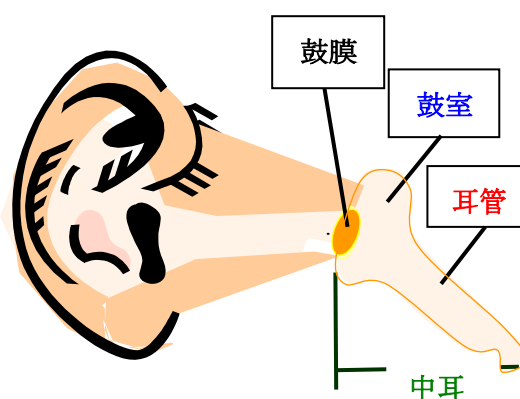
No.153 2010年8月

丸子中央総合病院 薬剤部

耳の病気といえば、中耳炎を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。小児に多いといわれている中耳炎は1歳になるまでに2人に1人がなるともいわれています。

## 1. 中耳炎とは

耳の中耳はこしつ鼓室とじかん耳管と呼ばれる部分からなり、耳管はのどと鼻の間につながっています。この中耳に炎症が起こることを「中耳炎」といいます。



## 2. 特徴と症状

中耳炎は起こり方によって、急性中耳炎としんしゅつせい滲出性中耳炎ちゅうじえんに分類されます。1週間くらいで症状は治ることもありますが、感染が長引いて炎症が慢性化すると膿が鼓室にたまり、鼓膜を破って耳の外に出てくる耳漏じろうやめまいなどが起こることもあります。



分類	特徴	症状
急性中耳炎	<ul style="list-style-type: none"><li>・鼻かぜやアデノウイルス感染症などの細菌感染により起こる</li><li>・アデノウイルス感染症はプールに入ったときになり、別名で「プール熱」ともいわれている</li><li>・小児がかかりやすい</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・耳の痛みや炎症により発熱を起こすことが多い</li><li>・耳の痛みは長く続くこともある</li><li>・一時的な場合もある</li></ul>
<small>しんしゅつせい</small> 滲出性中耳炎 <small>ちゅうじえん</small>	<ul style="list-style-type: none"><li>・中耳に水分がたまると起こる</li><li>・粘膜から滲出液がたくさんでたり、中耳に入った水分の排泄がうまくいかなかったりすると中耳に水分がたまりやすくなる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・耳に何か詰まったような違和感がでて、聞こえにくくなる</li></ul>



### 3. 治療

細菌感染が起こっている場合は、抗生物質が使われます。症状を長引かせたり悪化させたりしないために抗生物質は指示どおり正しく使用しましょう。症状によって炎症や痛みを抑える薬(抗炎症鎮痛薬)も使われることがあります。耳漏を取るための外科的な治療を行うこともあります。



#### 主な抗生物質

内服薬 : フロモックス、メイアクトMS

点耳薬 : タリビッド

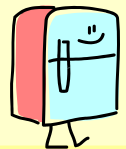
\*点耳薬はつける方の耳を上にしてつけ、薬が患部に届くように2~3分はそのままでいましょう。手で人肌くらいに暖めてから使いましょう。冷たいままだとめまいが起こることがあります。

#### 主な抗炎症鎮痛薬

内服薬 : カロナール

坐薬 : アンヒバ

\*坐薬はできるだけ排便後にいれましょう。冷蔵庫で保管して下さい。



### 4. 中耳炎のよくある疑問



#### なぜ小児は急性中耳炎にかかりやすい？

小児は、成人に比べ耳管が水平に近く、太いので鼻からの感染が起こりやすくなります。



また、体を守る免疫機能が発達途中なのもかかりやすい原因のひとつです。



#### 鼻のかみ方は？

鼻みずには多くの細菌がひそんでいます。そのため鼻を強くかみすぎると鼻みずが耳管の方へ行き感染しやすくなりますので、鼻はゆっくりと力を入れすぎずに何回かに分けてかみましよう。



#### プールに入れる？

一般的に急性中耳炎の場合は治ってから入るようにしましょう。滲出性中耳炎の場合、症状によっては入ることができます。外科的な治療のあとや耳漏が起こっているときは治ってから入りましよう。



自分の判断で無理に入ると症状が悪化することもありますので、医師に相談してから入りましよう。

耳は普段から清潔にするよう心がけ、耳が聞こえにくい、痛むなど耳の調子がおかしいと思ったら早めに受診ましよう。



文責 薬剤部 宮川・小田中